

平成 27 年 第 3 回定例道議会報告

北海道議会議員 北 口 雄 幸

【所属会派】 民主党・道民連合議員会

【会派役員】

【所属委員会】 保健福祉委員長、北方領土特別委員会筆頭理事

【党活動】 民主党北海道副筆頭幹事長、第 6 区総支部副代表、士別ブロック支部代表

【議会活動】 林活議連事務局長、農政議連副会長

【日 程】 平成 27 年 9 月 8 日（火）～10 月 2 日（金）

【一般質問】 第 3 回定例道議会は、9 月 8 日（火）に開会、平成 27 年度北海道補正予算、「子ども医療費助成の制度化を求める意見書」などを可決し、10 月 2 日（金）に閉会した。

わが会派の代表質問には、道下大樹議員（札幌市西区）が立ち、知事の政治姿勢、行財政運営、エネルギー政策、交通政策などについて質疑した。

また、一般質問には菅原和忠議員（札幌市厚別区）、中川浩利議員（岩見沢市）、藤川雅司議員（札幌市中央区）、広田まゆみ議員（札幌市白石区）、佐々木恵美子議員（十勝地域）、星野高志議員（札幌市東区）の名が登壇し、当面する道政課題、地域課題について道の取り組みを質した。

【主な審議経過】 安倍政権は、安全保障関連法案の審議、採決を衆議院、参議院で相次ぎ強行した。会派は、会期中の 9 月 15 日に「安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書」、会期末の 10 月 2 日に「9 月 19 日未明に成立した安全保障関連法採決に抗議する決議」を提案したが、いずれも自民・公明会派等の反対で否決された。多くの国民の反対、懸念の声を押し切り成立した法の廃止に向けて今後も取り組んでいく。

TPP 交渉、人口減少対策・地方創生関連施策、国土形成計画の前倒し改定に伴う「新たな北海道総合開発計画」の前倒しでの見直しなど、安倍政権の未成熟な施策の連発によって、道庁や市町村行政はその対応に追われているが、知事は、こうした施策に唯々諾々と従うばかりで、相も変わらず、道民や市町村の意志をまとめて国にももの申す姿勢は示さない。

自ら閉鎖したシンガポールの道事務所を再開することを決めたり、道分の合計特殊出生率が 2030 年に 1.80、2040 年には 2.07 まで上昇することを諸計画策定のベースにしたりと、道政の乱暴な手法も相次いでいる。

安全、安心な暮らしの基盤が揺らいでいる。少子対策といいながら、地域で子どもを産み育てることが困難になっている。生徒の数の減少を理由に高校が地域から消えていく。新幹線がやっとやってくるが、代償のようにローカル線での合理化が再び加速している。地域で暮らし続けるための議論を進める。

補正予算は、道投資単独事業費 48 億円など一般会計 61 億 9,100 万円、特別会計 6,600 万円。これで、27 年度道予算は、一般会計 2 兆 8,083 億円、特別会計 6,415 億円の合計 3 兆 4,498 億円となった。

平成 26 年度の道一般会計決算は、形式収支で 33 億 5,800 万円、実質収支で 27 億 8,500 万円の黒字。地方公共団体財政健全化法に基づく健全化判断比率は、実質公債費比率が 20.8%、将来負担比率が 317.4%と、なおも厳しい状況が続く。

【平成 27 年度補正予算】

単位：千円

	一般会計	特別会計	合計
既決予算額	2,802,127,714	641,512,610	3,443,640,324
今回補正額	6,191,303	66,263	6,257,566
合計	2,808,319,017	641,578,873	3,449,897,890

【採択された決議・意見書】（◎は政審発議、○は委員会発議）

- ◎子ども医療費助成の制度化を求める意見書
- 「患者申出療養」の適切な運用を求める意見書
- 私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書
- 北方領土の解決促進等に関する意見書
- ◎T P P 協定交渉に関する決議

※民主党会派としては、「安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書」、「9 月 19 日未明に成立した安全保障関連法採決に抗議する決議」を提案したが、自民及び公明会派の反対で否決された。なお、「安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書」の提案説明は、稲村久男議員（空知地域）が行った。

【広報等】

- * 道政報告「ゆうこう便り」の発行 2015 年 10 月（秋号）46 号
- * ホームページの開設 2007 年 7 月開設、ブログは毎日更新中 <http://y-kitaguchi.net/>
- * FaceBook でも情報発信中 <https://www.facebook.com/profile.php?id=100005834470895>

「北口ゆうこう」奮闘日記 →

